

有峰盆地の成り立ちを考える

- 1 実施日 令和5年9月10日（日）
- 2 参加者数 8名
- 3 講師 富山県立山カルデラ砂防博物館
学芸員 丹保 俊哉
- 4 主な活動内容
 - ・ビジターセンターにて、有峰盆地と跡津川断層の関わり等の解説を受けた。
 - ・ノン谷（冷タ谷遊歩道南口付近）にて、谷の形状を観察。断層の動きにより変化した山の形状について説明を受けた。
 - ・跡津川断層展望地点にて、跡津川断層の露頭を観察、説明を受けた。
 - ・跡津川断層露頭の上部辺りにて、ねじり鎌で表土を削り地質の違いを観察し解説を受けた。
 - ・ビジターセンターにて、航空写真などから隠れた断層を見つけるなどして、断層を振り返った。
- 5 参加者の声（ふりかえりアンケートより抜粋）
 - ・地球全体を揺るがす、地震によって活断層が出来た歴史を学んだ。
 - ・断層についてとても面白く聞きました。神通川の下に常願寺川のしみ込んだ水があるとは…。知らないことばかりで楽しく、なんかワクワクしました。

